

● 松島町合津終末処理場管理棟

MATSUSHIMA TOWN
AIZU SEWER PLANT
CONTROL FACILITY

青く澄んだ海
緑の島々と、それらをつなぐ天草五橋。
風向明媚な地である松島町は、
阿蘇とならぶ観光地として知られる
天草地方の町である。
そのような環境の中で、
下水処理場という施設にも
自然環境と調和するようなデザインを
取り込んでいくことを意図して
設計された。

Kumamoto Artpolis

K・A・P

くまもとアートポリス

熊本県 | くまもとアートポリス事務局
熊本県土木部建築課 〒862-8570 熊本市水前寺6-18-1
☎096-383-1111 (6215)





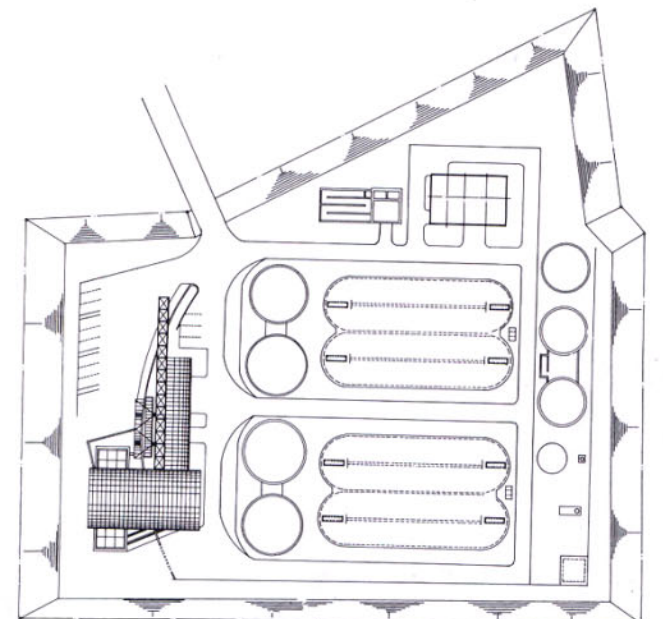
● 建築概要

終末処理場の管理棟の機能を分類整理し、チャート化することによって、管理部門と現場部門、管理と現場双方に関連をもつ中間部門、機械設備部門の四つの機能セクションに集約されると考え、それらのセクションと松島を象徴する環境要素(海に浮かぶ島々、走る船、島々を飛び交う橋々、隠れキリシタンのクルス等)をモチーフとした融合を試みている。

この終末処理場の周辺は、現在、地域の公園として計画されており、将来は、公園に囲まれた終末処理場になる予定である。公園の木々が1階のーフミラーの部分を風景の中に消し去り、森の海の中に管理棟が進水した時、この建物は完成する。

● 建築データ

名称/松島町合津終末処理場管理棟
 所在地/天草郡松島町大字合津4276-387
 主要用途/管理棟
 事業主体/松島町
 設計者/齋藤 宏
 施工者 建築/三菱建設+吉永産業JV
 植栽/舛本工業
 敷地面積/16,600㎡
 建築面積/570㎡
 延面積/720㎡
 階数/地上2階
 構造/鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
 外部仕上 屋根/フッ素樹脂カラーステンレス
 庇/アルミプレート焼付け塗装
 外壁/コンクリート打放し澆水材塗布、磁器質モザイクタイル、アルミパネル、セラスキン吹付
 施工期間/1990年12月-1992年3月(植栽を除く)
 総工事費/249百万円(植栽を除く)



配置図



● 建築家プロフィール

齋藤 宏 (さいとうひろし)

- 1947年 熊本県生まれ
- 1970年 熊本大学工学部建築学科卒業
- 1970年 大阪建築事務所(現大建設)入所
- 1972年 安井建築設計室入所
- 1976年 環境建築工房(大阪市)共同設立
- 1979年 環境建築工房(熊本市)設立

● 主な作品

緒方電機工業本社、西原村宮河原団地、DUE SAKUMA、御船町宮中原団地

1987年 国土建設週間建設大臣賞